

教材 1 - F - (1) 古代から中世までの様子（記入例）

	縄文時代	弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代
社会の様子	(ウ) 中・小型の動物と魚や貝、ドングリが重要な食料であり、土器を使用し煮炊きを行う習慣も広まった。	(ア) 稲作が伝わり、人々のあいだに 貧富の差 ができ、支配者も現れた。	(イ) 大王 を中心に、大和と周辺の有 力な豪族 で構成されていた ヤマト王権 が支配を強めた。	(エ) 天皇を中心とする国家のしくみを整えようと 冠位十二階 の制度を定めて、世襲ではなく個人の才能によって役人を採用することとした。	(オ) 天候不順や疫病で税を納められず逃亡する農民も増え、人口の増加による口分田の不足もあり、 墾田永年私財法 が出された。	(ク) 弓矢や騎馬などの武芸に優れ、朝廷や国司に仕えて警備や護衛にあたる 武士があらわれた 。	(キ) 裏作に麦を作る 二毛作 も始まり、草や木の灰を用いた肥料も普及し始めた。	(コ) 各地の武士が 南朝と北朝とに分かれて戦い 、約 60 年にわたって全国的な内乱が続いた。	(ケ) 惣 と呼ばれる自治組織を形成し、有力者を中心に全員で力を合わせて村を守るようになった。 (カ) 商業が活発になり定期市の回数も増え、農村にも貨幣が浸透し、 土倉 とよばれた 質屋 のほか、 酒屋 も高利貸しを営み、都市の近くの農民も利用した。
人物		・卑弥呼		・聖徳太子 ・中大兄皇子	・聖武天皇	・桓武天皇・藤原氏 ・平清盛	・源頼朝 ・北条氏	・後醍醐天皇 ・足利尊氏	・足利義満
政治・政策の特徴		(ス) 力の強いむらは力の弱いむらに従えて 、くにとよばれる政治的にまとまりをもった小国となった。	(ウ) 大王 を中心に、豪族は先祖を共通にする氏という集団をつくり、代々決まった仕事で朝廷に仕えた。	(エ) 天皇である おばを助け、摂政となり 天皇を中心とする国家を作ろうとした。 (ク) 律令に基づいて政治を行う律令国家をつくるために、 大宝律令 を定めた。	(ケ) 仏教は国家を守り、政治を安定させる力を持つものと考えられ、地方に 国分寺・国分尼寺 が建てられた。	(コ) ゆるみ始めた律令政治を立て直すため、 都を京都に移し 、地方の国司の不正を厳しく取り締まった。 (サ) 娘を天皇のきさき とし、その子を天皇として、自分は 摂政、関白 という職について政治を動かした。 (イ) 位を幼い皇子にゆずって 上皇 となっても、 摂政 や	(キ) 中央には 侍所・問注所・政所 を設け、地方には 守護と地頭 を配置して支配を強めた。 (セ) 京に 六波羅探題 をおいて、朝廷を監視し、西日本の御家人を統制した。	(カ) 天皇を中心とした新しい政治を目指したが、 少ない恩賞に対して武士が不満を持った 。	(オ) 将軍が直接支配する勢力は少なく 、財政の基礎も弱かったため、太政大臣になるなど朝廷の権威も身につけた。 (シ) 戦国大名 は城を築いて城下町をつくり、領国支配のため 分国法 という法を定めた大名もいた。

						<p>関白を押さえて政治を行い続けた</p> <p>(ア) 一族の長は太政大臣となり一族を朝廷の高い役職や国司につけた。</p>			
土地				<p>(ア) 6歳以上の男女に農地(口分田)を割り当て、死ねば返させる班田収授を行った。</p>	<p>(イ) 逃亡する人々が増え、人口も増えたので墾田永年私財法を出し、農地の開墾を進めようとした。</p>	<p>(ウ) 公地公民の原則はくずれ、有力貴族のもとには全国から寄進された荘園が集まった。</p>	<p>(エ) 地頭が置かれた荘園では、荘園領主と地頭との二重支配を受けることになった。</p>		<p>(オ) 下剋上の風潮の中から、守護大名の地位をうばって実力で領国を治める戦国大名が現れた。</p>
出来事				<p>(ウ) 天皇家が主導権をもつ国家をつくるため、中大兄皇子と中臣鎌足は蘇我氏をたおして政権をにぎった。</p> <p>(ク) 律令に基づいて政治を行う律令国家をつくるために、大宝律令を定めた。</p>		<p>(エ) 強く反対していた蝦夷たちを、朝廷は坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して、しずめた。</p> <p>(オ) 軍事力を強めた平将門や藤原純友らは、武士団を動かして大規模な反乱を起こした。</p>	<p>(イ) 元は武力を背景に日本に国交をせまり、2度にわたり九州に大軍を送ってきた。</p> <p>(カ) 院政を行っていた後鳥羽上皇は、幕府をたおそうとして兵をあげたが敗れ、幕府は西日本の支配を強めた。</p>		<p>(ア) 將軍のあとつぎをめぐり細川氏と山名氏の対立が深まり、11年の戦いが起きた。</p> <p>(キ) 地侍と農民が一向宗の信仰で固く結びついて、守護大名をたおして約100年間も自治を続けた。</p>
海外との関係	<p>(エ) 倭の奴の国王が漢に使いを送り、皇帝から金印を送られた。</p>	<p>(オ) 多くの渡来人が日本を訪れ、漢字・儒教・仏教などを伝えた。</p>	<p>(ア) 小野妹子らの遣隋使を送って、制度や仏教を学ばせた。</p>		<p>(イ) 唐がおとろえ、200年間続いてきた遣唐使が廃止された。</p> <p>(ウ) 兵庫の港を整備し、日宋貿易を進めた。</p>	<p>(ク) 元は日本に国交をせまり使者を送ったが、無視されたので攻めてきた。</p>		<p>(カ) 尚氏が琉球王国をたて、明・朝鮮・東南アジアとの中継貿易に活躍した。</p> <p>(キ) 倭寇と区別をするために、勘合を持たせ民間の貿易船と区別した。</p>	
	縄文時代	弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代